

地域で取り組むプライマリ・ケア

- 菜の花診療所の実践に学ぶ -

主催 NPO(特定非営利活動)法人プライマリ・ケア教育ネットワーク <http://www.pc-education.jp>

1. 開催趣旨

私たち NPO 法人プライマリ・ケア教育ネットワークではプライマリ・ケア実践を目指す医療人の養成をテーマとしていますが、地域との係わり合いをどう組み立てていくかが今ひとつの課題としてあります。発足記念シンポジウムでもこれに関するご指摘を多くいただきました。

さて今回の企画です。大阪の下町にある菜の花診療所は、一見、何の変哲もない普通の診療所ですが、実は地域住民の出資でつくられたユニークな存在です。1988年に勉強会が発足、いろいろな苦勞を辿り7000万円の出資を得て1992年12月に開院しました。以来10年以上に亘って、地域住民も経営に参加する診療所経営を行なってきました。地域の高齢化に伴って有限会社方式で介護事業も立ち上げ、現在、医療法人菜の花診療所、出資者の会および有限会社の三位一体で経営・運営がなされています。経営会議は出資額に関係なく出資者であれば誰でも参加できます。地域一体型のプライマリ・ケア実践の仕組みがここにはあります。

今回、菜の花診療所で中心メンバーとして活躍の山寺慎一院長、岡崎和佳子師長、出資者の会の小川亮氏らを迎えます。いろいろとお教えいただき、また中日新聞識者のご参加も得た上で、意見交換を通じて地域で取り組むプライマリ・ケア実践の手掛かりをつかんでいただければと思います。

2. 内容

14:00~14:30 問題提起 「プライマリ・ケア - 地域社会との協働を考える」

理事長・名古屋大学教授 伴 信太郎

14:30~15:50 講演 「地域でのプライマリ・ケア実践を報告する」

菜の花診療所院長 山寺慎一氏

同 師長 岡崎和佳子氏

同 出資者の会 小川 亮氏

15:50~16:00 休憩

16:00~17:00 パネル討論 伴信太郎、山寺慎一氏、岡崎和佳子氏、小川亮氏

中日新聞社生活部次長 安藤明夫氏

日本プライマリ・ケア学会常務理事 木戸友幸氏

司会・進行 副理事長・株式会社メディサイト代表取締役 松村真吾

3. 演者紹介

伴 信太郎 京都府立医大卒業後、米国留学(レジデント研修)、川崎医大総合診療部などを経て名古屋大学付属病院総合診療部教授。家庭医療学会でも代表としても活躍した。

山寺 慎一 名古屋大学卒業後、掛川市立総合病院でスーパーローテート研修、東京医療センター総合診療部チーフレジデントなどを経て2003年より菜の花診療所院長を務める。

日本内科学会、日本プライマリ・ケア学会、日本家庭医療学会など会員

岡崎和佳子 大阪府公衆衛生学院(現大阪府大看護学部)卒業後、大阪市大病院勤務などを経て1992年より菜の花診療所看護師長。03年より有限会社菜の花でケアマネージャ兼務。菜の花診療所設立当初からのメンバー

小川 亮 愛知県出身。神戸大学卒業後、商社勤務を経て地区労での地域労働運動の専従職員として現在まで勤める。ユニオンとうなん、なにわユニオンの執行委員長。菜の花診療所出資者の会代表を務める。

安藤 明夫 中日新聞生活部次長。医療福祉関係の記事を多く執筆する。他にCAPNA(子どもの虐待防止ネットワーク・あいち)常務理事、日本自閉症協会などでも活動中

木戸 友幸 大阪医大卒業後、アメリカ留学、パリ・アメリカン病院などを経て木戸医院福院長。臨床の傍ら、日本プライマリ・ケア学会常務理事、大阪医大臨床教授などを務める。

松村 真吾 慶応大学卒業後、近鉄勤務を経て株メディサイト社長。徹底した患者参加型、医療スタッフの活性化実現を目指す。神戸大学 MBA

4. 日時 2006年11月18日(土) 午後2時から午後5時まで(午後1時半受付開始)

5. 場所 名古屋大学医学部 A 棟 3 階第一講義室(名古屋市中昭和区鶴舞町 65 番地)
JR 鶴舞駅(名大病院口)徒歩 5 分、地下鉄 鶴舞駅徒歩 10 分

<http://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical/101/m10109.html>

6. 参加費 会員 1,000 円 一般 2,000 円 学生 1,000 円

7. 定員 100 名(定員に到達次第締め切らせて頂きます)

8. お問合せ先 名古屋大学付属病院総合診療部

TEL 052-744-2951

e-mail info@pc-education.jp

当日、当法人入会を受け付けます。よろしくご願ひ申し上げます。